

2009年5月26日

お客様各位

ソフトブレイン株式会社
カスタマーサポートソリューション部

eセールスマネージャーをInternet Explorer 8で使用する場合のご注意

拝啓、貴社益々ご盛栄のこととお慶び申し上げます。

また平素より弊社 e セールスマネージャーをご利用いただき、誠にありがとうございます。

マイクロソフト株式会社よりリリースされました Internet Explorer 8 (以下 IE8) に関し、自動更新による配布が進んでおります。e セールスマネージャーを IE8 にて利用する際の注意点および対応方法に関しご連絡させていただきます。

敬具

記

1. eセールスマネージャーを IE8 で使用する際のご注意

既存の e セールスマネージャーに関し IE8 で使用することで一部画面 (注) の構成が崩れることが確認されております。

注： 弊社にて確認した画面は、受注予実機能の予算設定画面が該当します。

2. eセールスマネージャー各バージョンの IE8 対応予定

対応バージョン

e セールスマネージャー Ver6.1 以降

対応スケジュール

2009年5月中 後述の対応を行なった環境における動作検証を完了予定

動作検証を行なった詳細なパッチ情報

バージョン 6.1

→リビジョン 2 パッチ 17.7 (2009/5/29 リリース予定)

バージョン 7.0

→リビジョン 2 パッチ 16.1 (2009/5/22 リリース)

バージョン 7.1

→リビジョン 4 パッチ 2 (2009/5/29 リリース予定)

注： バージョン/適用されているパッチの確認方法は、添付資料 1 を参照ください。

- ✓ 上記バージョン以外に関しましては、誠に恐縮ながらバージョンアップによる対応をお願い申し上げます。
- ✓ 検証により大規模な修正が必要な問題が見つかった場合は、修正パッチのリリース予定を変更させていただく可能性があることをあらかじめご理解いただきたく存じます。
- ✓ 先の報告では、7月～8月の対応としていましたが、IE8の自動更新開始が始まったことを考慮し、対応を前倒しいたしました。また、eセールスマネージャーバージョン6.1も対応対象といたしました。

3. IE8にてeセールスマネージャーを使用するための対応方法

対応方法は2つございます。対応1は、サーバサイドでの対応となります。

対応2は、クライアントサイドでの対応となります。

どちらかの対応を行なうことで問題は解消いたしますので、お客様の運用にあわせ対応をお願いいたします。

対応方法1 eセールスマネージャーのWEBサーバの設定を変更する対応

注： 対応の詳細は、添付資料2を参照ください。

対応方法2 IE8のクライアントにてIE7互換モードで動作させる対応

eセールスマネージャー表示後に、アドレスバー横の互換モードボタンを押すことで、画面表示をIE7互換モードに変更できます。

参考情報

<http://www.microsoft.com/japan/windows/products/winfamily/ie/function/comp/default.aspx>

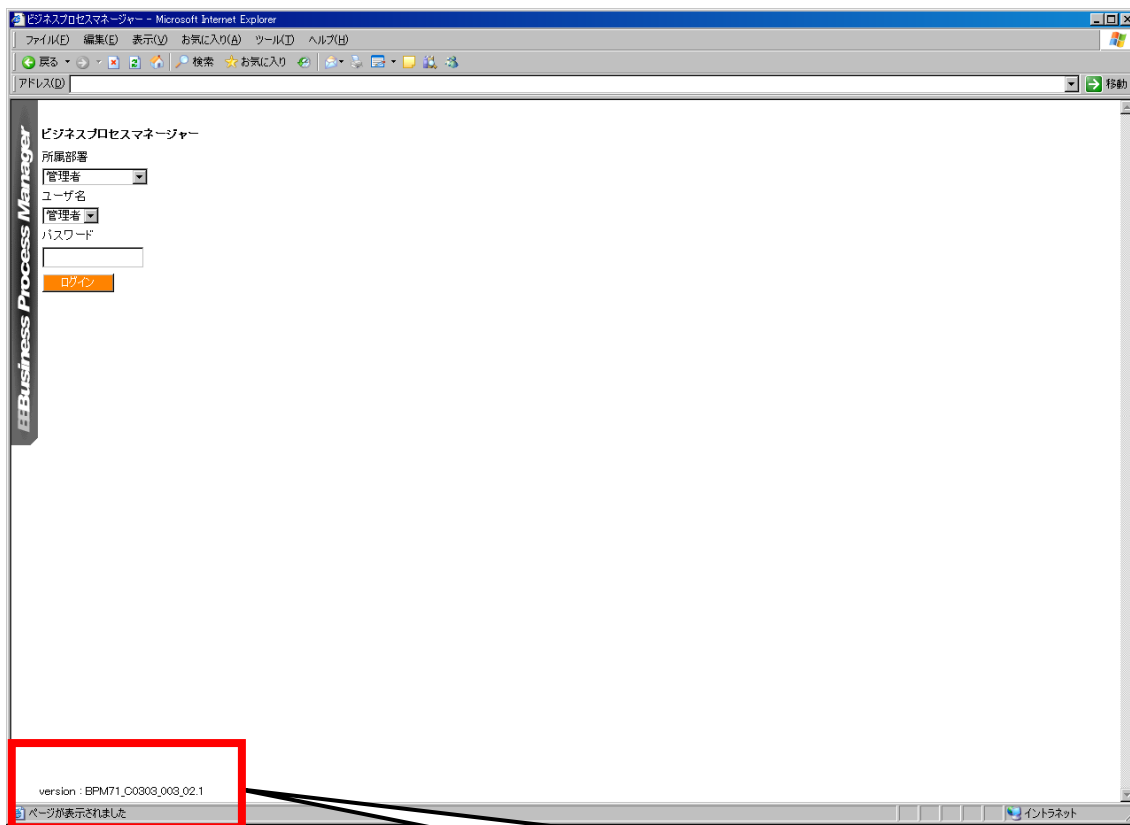
4. お客様へのお願い

eセールスマネージャーをIE8にて使用される場合は、弊社にて検証を行なったパッチを適用の上、上記のいずれかの対応を実施いただきたく存じます。

以上

添付資料 1 eセールスマネージャーのバージョン情報確認方法

- ・ eセールスマネージャーのログイン画面を表示ください。



バージョン情報は、この部分に表示されます。

バージョン情報の見方は、下記になります。

version : **BPM71** **A0101_001** **01**

赤枠：バージョン情報を表示します。

BPM61	バージョン 6.1 を表します。
BPM70	バージョン 7.0 を表します。
BPM71	バージョン 7.1 を表します。

青枠：リビジョン情報を表示します。

A0101_001	リビジョン 1 を表します。
B0202_002	リビジョン 2 を表します。
C0303_003	リビジョン 3 を表します。

緑枠：パッチ情報を表示します。

パッチが適用されていない場合は、この部分の表示が存在しません。

01 はパッチ 1、02 はパッチ 2 を表します。

表示情報の末尾に「.1」等端数が存在する場合がございます。これはパッチ内のマイナーバージョンを意味します。

添付資料 2 WEB サーバの設定変更方法

ご使用の WEB サーバ内の設定ファイル (httpd.conf) の記載を編集し、サービスを再起動いたします。

◆対応手順 1

e セールスマネージャーの WEB/AP サーバ、WEB サーバにて下記設定ファイルを任意のエディタで開いてください。

WebSphere の場合

(IHS インストール先)¥conf¥httpd.conf

※IHS は、WebSphere の WEB サーバアプリケーションです。

Interstage の場合

(Interstage インストール先)¥F3FMihs¥servers¥FJapache¥conf¥httpd.conf

WebOTX の場合

(WebOTX インストール先) ¥config¥WebServer¥httpd.conf

◆対応手順 2

以下の編集を実施いたします。

編集点 1

```
#LoadModule headers_module modules/mod_headers.so
```

上記記載のコメントアウト (先頭の「#(シャープ)」) を外します。

編集前

```
#LoadModule headers_module modules/mod_headers.so
```

編集後

```
LoadModule headers_module modules/mod_headers.so
```

編集点 2

```
<IfModule mod_headers.c>  
    Header set X-UA-Compatible "IE=EmulateIE7"  
</IfModule>
```

上記記載を追記いたします。

追記時の注意

httpd.conf 内には、いくつか下記の記載が存在します。

```
<IfModule XXXXXX>  
    OOOOOOOOOOOO  
</IfModule >
```

<IfModule XXXXXX>から</IfModule >までが、1 セットになりますので既存の記述と追記の記述が、混ざらないように注意してください。

正しい記述

```
<IfModule XXXXXX>  
    ……既存の記述  
</IfModule >
```

追記内容が、既存の記述と
分かれている

```
<IfModule mod_headers.c>  
    Header set X-UA-Compatible "IE=EmulateIE7"  
</IfModule>
```

誤った記述

```
<IfModule XXXXXX>  
    ……既存の記述 1
```

追記内容が、既存の記述の
間に記載されている。

```
<IfModule mod_headers.c>  
    Header set X-UA-Compatible "IE=EmulateIE7"  
</IfModule>
```

```
</IfModule >
```

◆対応手順 3

e セールスマネージャーの WEB/AP サーバ、WEB サーバにて該当するサービスを再起動してください。

WebSphere の場合

サービス「IBM HTTP Server ~」を再起動してください。

Interstage の場合

サービス「FJapache」を再起動してください。

WebOTX の場合

e セールスマネージャーをインストールしたドメインを再起動してください。

以上で対応完了です。

添付資料 3 IE8 の自動更新による配布を無効化する技術情報

下記 WEB サイトにて紹介されているソフトウェアをインストールすることで、IE8 の自動更新による配布を無効化できます。本ツールに関する詳細は、製造元マイクロソフト株式会社に確認いただきたく存じます。

<http://technet.microsoft.com/ja-jp/updatesmanagement/dd365125.aspx>

以上